

◆家庭でできる 災害対策



いざという時に素早く行動することは困難です。
日頃から災害に対する準備をしておくことが重要となります。
災害時に避難する場所や持参品などを家族で再確認しましょう。



ハザードマップで 自宅周辺の確認



エリアごとに確認▶

避難者カードを作成

まずは自宅などがハザードエリアに該当するか、周辺に危険な箇所はないか、避難所はどこかなどを確認しましょう。避難所や避難場所までの経路を考えておくことも重要です。

- ・避難所：災害によって自宅などで過ごすことが難しい人たちが危険がなくなるまで滞在、生活をする場所
- ・避難場所：災害の危険が迫る中で一時的に逃げる場所



避難所などは
こちら



ダウンロードは
こちら

家族で話し合おう

各世帯で事前に必要な事項を記入し、避難所の受付に提出することで、市が避難者の把握や支援業務に活用するとともに、避難所での混雑防止などに役立てます。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。事前に家族で話し合っ

非常用持ち出し品



- ☐ 飲料水 ☐ 食料品 ☐ 貴重品（通帳・印鑑など） ☐ タオル
- ☐ 衣類 ☐ 下着 ☐ ウェットティッシュ ☐ マスク ☐ 毛布
- ☐ 軍手 ☐ 懐中電灯 ☐ スマホ用充電器 ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 携帯ラジオ ☐ 洗面用具 ☐ 予備電池 ☐ 救急用品
- ☐ 常備薬 ☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ 避難者カード

防災情報はここから

防災行政無線

緊急情報を速やかに届けられるよう、防災行政無線を整備しています。放送が聞こえにくい場合は、再応答サービスを利用してください。

防災無線再応答サービス（通話無料）

☎0120-0296-99

戸別受信機の貸与

防災行政無線が聞こえにくい場合、放送を屋内で受信できる戸別受信機を無償で貸与します。

台数 1世帯又は1施設につき1台

※申請には要件があります。

詳しくは Web で

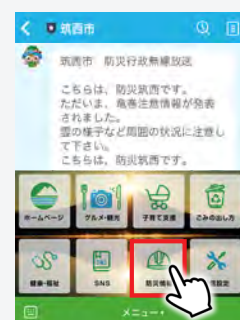


筑西市公式LINE

避難所の情報や防災無線の過去の放送のほか、各種ハザードマップなどを確認できます。



友だち登録をして
活用してください



LINEの市公式アカウントをひらき、防災情報をタップすると防災ポータルページに移行します。

いつかの“もしも”に備えて 今日からできる 防災

近年、地震や大雨といった自然災害が多く発生しています。いつ起こるか分からない災害の被害を減らすために、改めて家庭や地域で防災について考えましょう。

【申】【問】 消防防災課（本庁4階） ☎24-2132

◆補助金を活用した 体制強化

自主防災組織活動育成事業費補助金

災害発生時に重要な役割を担う、自治会などの自主防災組織の活動に対し、補助金を支給します。



自主防災組織結成時（1組織1回限り）

防災用資機材などの購入費として 20万円

防災訓練の実施など

組織加入数50世帯未満 2万円 50世帯以上 3万円

防災士育成補助金

地域における防災力向上の担い手となる人材を育成するため、防災士の資格取得に要する費用を補助します。



補助限度額

1人あたり 6万4,000円

※補助には受講前の申請が必要となります

水害時等における要配慮者避難支援助成金

水害時などで避難発令がされた際に、要配慮避難者が避難場所まで避難支援車両を利用した際の経費に対して助成します。



補助限度額

一度の災害につき 5,000円

※実際に支払った費用と比較して、いずれか少ない額が上限となります（要事前登録）

要配慮避難者宿泊施設利用助成金

避難発令がされた際に、要配慮避難者が市内の宿泊施設を避難所として利用した際の経費を助成します。



補助限度額

1人につき1泊あたり 3,000円

※宿泊費の2分の1の額と、上限額3,000円を比較して少ない額を助成します（2泊まで）

◆参加しよう 防災訓練

協和中学校区防災訓練

実際に避難所を開設し、避難経路の確認や、消防署による水消火器の使用体験、協力企業による災害物品の展示などを行います。

▶日時 6月28日(土) 午前9時～11時

▶場所 協和コミュニティセンター

▶対象 どなたでも（消防防災課に要申込）

訓練当日は、防災無線やSNSなどを用いた情報発信訓練も行いますので、実際の災害情報と間違えないよう注意してください。



防災の意識を高めよう

昨年一年間のさまざまな訓練、出前講座をとおして「市民にとって防災は他人事だ」ということを感じています。それだけ市民には安全な地域だと思われるのかもしれませんが、災害は場所、時期を選ばずやってきて突然当事者になります。まず、誰かが何とかしてくれるという意識から脱却し、一人ひとりが自分や地域でなんとかするという意識を持つことが防災の第一歩です。

消防防災課
おたわ としかず
大多和 利一 防災監

